

サクラマス釣獲調査について（平成21～22年の結果概要）

平成23年6月28日

秋田県農林水産技術センター

水産振興センター内水面利用部

1 目 的

平成22年4月に漁業権内容魚種となったサクラマスについて、採捕禁止期間中である3～5月、採捕可能な時期で、遊漁者が多く見られる1～2月、6～7月に釣獲調査を行うことにより、資源状況や県民ニーズに応じた管理方法検討のための一資料とする。

2 内 容

(1) 採捕可能期間

1) 調査期間：1～2月、6～7月

（平成21～22年は6～7月の実施）

2) 調査河川：米代川、雄物川、子吉川水系
本支流

※米代川水系は平成21年から、雄物・子吉川水系は平成22年から実施した。

3) 調査方法：参加漁協から3～6人ずつ選出し、釣獲状況を記録した。



写真1 サクラマス

(2) 採捕禁止期間中（特別採捕により実施）

1) 調査期間：3～5月の週1回実施

（平成21～22年は4～5月の実施）

2) 調査河川：(1) 解禁後と同様

3) 調査方法：参加漁協から3～6人ずつ
選出し、釣獲状況を記録した。



写真2 調査風景(採捕禁止期間中)

3 結 果（平成21～22年）

- ・調査に従事した人数及び延べ時間は、平成21年が23人、491時間（4～5月：288時間）、平成22年が42人、1,168時間（4～5月：794時間）であった。
- ・釣獲尾数は平成21年は41尾（4～5月：9尾（1人1時間当たりの釣獲尾数：0.031尾）、平成22年は69尾（4～5月：41尾（0.052尾））と、河川水温が12～18℃の上昇期で、河川流量及び融雪による濁りが減少する5月中旬～6月上旬に多く釣獲される傾向が認められた（図1～3）。
- ・釣獲されたサクラマスの尾叉長は平成21年は39～69cm（平均55cm）、平成22年は43～66cm（平均56cm）で、両年とも時期別による差は認められなかった（図4、分散分析、 $P > 0.05$ ）。
- ・釣獲時間及び魚体を確認したものの釣獲に失敗した時刻を取りまとめた結果、4～5月

は8～9時に、6月以降は4～9時、16～17時に集中する傾向が認められた。

- ・米代川水系において、釣獲場所及び魚体を確認したものの釣獲に失敗した場所（以下、バラシ）を取りまとめたところ、4月には河口から10～45kmの米代川中流域までの範囲にあり、なかでも河口から10km上流の本流下流域では5例と多い結果となった。5～6月には釣獲尾数及びバラシの尾数が増加するとともに、場所も上流域へ分散した。6月にはさらに上流の河口から20～45km上流の本流中～下流域及び支流まで移動する結果となった（図5）。
- ・混獲魚としては、アメマス、ヤマメ、ニゴイ、スズキが認められた。

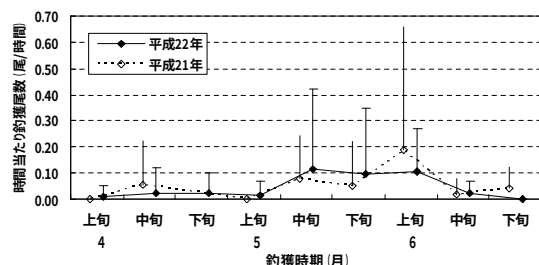


図1 時間当たり釣獲尾数の推移
(縦棒は標準偏差を示す)

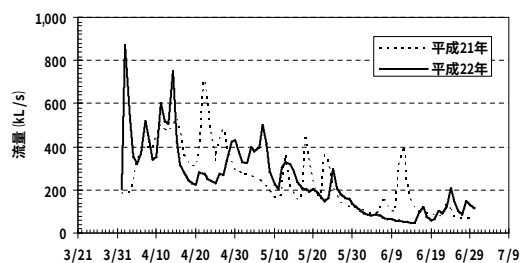


図3 能代市ニツ井地区の米代川の流量
(国交省能代河川国道事務所調べ)

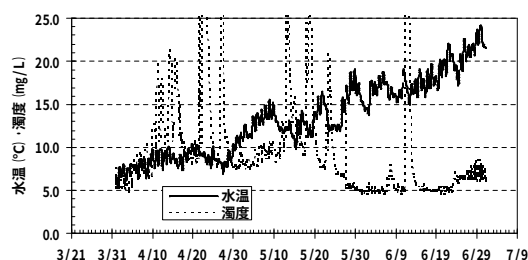


図2 能代市ニツ井地区の米代川の水温・濁度
(平成21年、国交省能代河川国道事務所調べ)

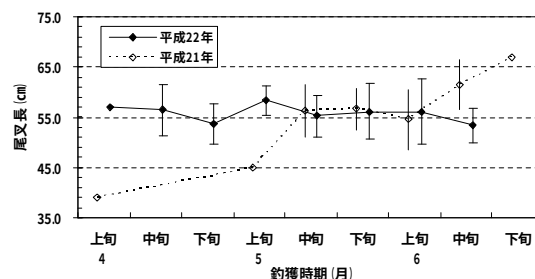


図4 釣獲したサクラマスの尾叉長
(縦棒は標準偏差を示す)

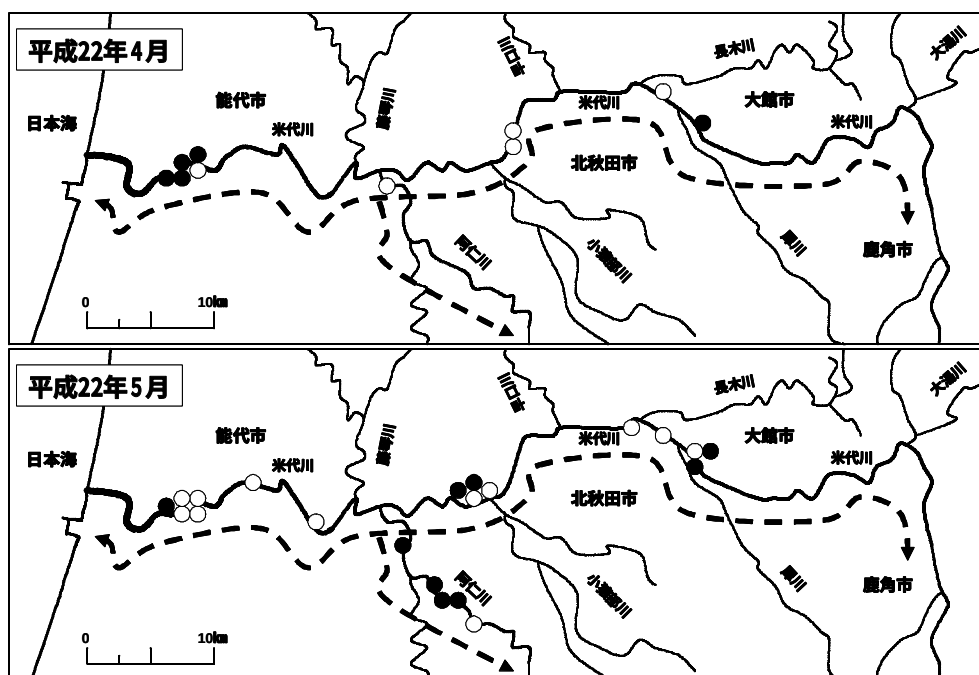


図5-1 サクラマスの釣獲場所(米代川水系：平成22年4月～5月)

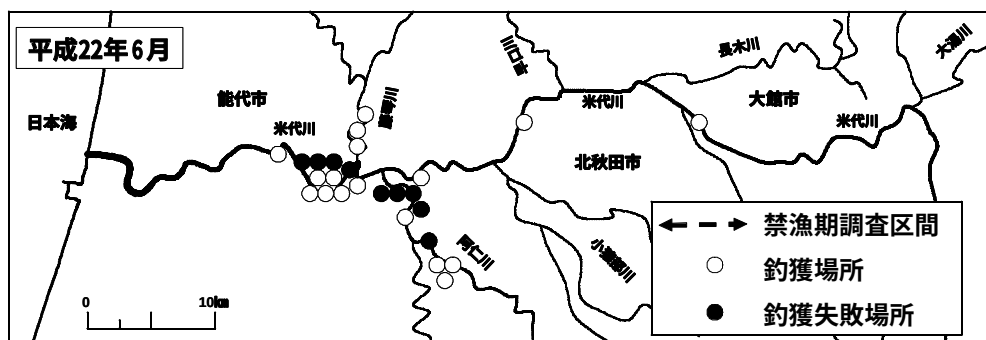


図5-2 サクラマスの釣獲場所（米代川水系：平成22年6月）